

情報交差点・心と心の交わり

あじま〜

大宜味村教育委員会

電話 44-3006

FAX 44-3020

力強いちかいの言葉

よ〜く伸びてます！



運動会始まるよ〜



慎重派



頭脳派



勢い派

おおぎみようちえん うんどうかい

楽しんでます♪



バランスとってます

非常にスムーズです

9月30日（日）、旧大宜味小学校体育館において平成30年度大宜味幼稚園運動会が開催されました。

家族や地域の方々に見守られながら、元気よく入場した27名の園児たち。

「いろいろな運動遊びを最後まで元気よく楽しむ！」のねらいに向かい、園児たちはできる、できないよりチャレンジする気持ちを一番に、運動遊びやかけっこ、ゆうぎに挑戦。

体操隊長さんや太鼓隊長さん、道具の準備隊長さんなど園児たちが役割をもって自分たちで進めていく運動会。（次ページへ続く…）

ルールを守るのもわんぱくたちの使命です

平成30年度わんぱく体験団

第5弾「よいこのダンボールハウス」

みんな大好きダンボールハウス。この活動をするを目的にわんぱくに入団する子もいるとか、いないとか…。

仲の良い友達と一緒に家を作って、部屋の中で遊んで一緒に寝られる…楽しいお泊り会ですが、ちゃんとした家を作らないと屋根が落ちたり、壁が崩れたりおちおち眠ることもできません。

みんなで協力して理想の家を築き上げよう！どんな家するのか、なるのかは自分たち次第！どんな結果になろうか自分たちの責任です。さあ、楽しい時間の始まりです。



ちょ～楽しい♪

真剣な眼差し…将来の職人候補!?



まずは柱から…



↓見つめ合うふたり…



えっ!?

ずっと持ってて

ステキな家が出来ました!!



俺の麺が一番ウマい!!

なんてことでしょう、部屋の中に屋根が…



作り途中だけど内覧者続出中…



あんなに頑張って作っても壊すのはいつも一瞬…

今回は部活の大会や集落の行事などと重なり、30名での活動。好きな人同士で作った班は4つ。トンネルで他の部屋と繋がったり、屋根のないオープンな家にしたりと、芸術的な家を作ったりそれぞれの個性も光り、5～10名収容の大きさも形も様々な家が完成しました。夕飯後には肝だめしも行き、楽しく夜は更けていき、ダンボールハウスでの宿泊。興奮して遅くまで（本当に遅くまで…）眠れない子もいるなか、屋根のない部屋でスヤスヤ眠る低学年でば遅い…。至る所でわんぱくたちの成長が見られました。これからもいろいろなことを体験してちょっとずつできることを増やしていこう！チャレンジする気持ちをつけていこう！



素晴らしい跳躍!



体幹が大事だよ～



もっと回そうか?

勇ましいでいご組



大きな声でエイサーだ!!



キマッタ!



大きな動き、サイコーです♪



はじける笑顔♪はじける踊り♪



よく振れてます



練習の成果を発揮した子、いつも以上に力を発揮できた子、本番で本領発揮した子。一人一人が自分のできることを一生懸命頑張り、どの子も1等賞の楽しい運動会となりました。

みんなで勝つ!



真剣勝負!



きついカーブもなんのその



すごいや

カッコいいや



みんなでバトンをつなげ



走力も立派!

マツムシの声を聞き比べよう♪ 生涯学習講座 夜の生きもの観察会 in おおぎみ

10月20日（土）、ぶながやの里生涯学習講座「夜の生きもの観察会 in おおぎみ」が行われました。虫の歌にもあるようにマツムシの声は本当に「チンチロチンチロチン」と聞こえるのか？ 沖縄に生息する2種類のマツムシ（オキナワマツムシ、リュウキュウサワマツムシ）の声を確認しに大宜味村のとある場所へ向かいました。実は3年前にも同様の講座を企画していたのですが、その時は天候が悪く声を確認することもなく終わってしまいました。こっそりと秋の鳴く虫観察会リベンジです。

オキナワマツムシの声を確認した後は大國林道に移動。ここでリュウキュウサワマツムシの登場を待ったのですが、全く聞こえず…。ですが、オキナワイシカワガエルの上陸個体や青色の個体を確認できたり、見つけることが難しいクマズムシを見つけたり嬉しいサプライズが次々に起こりました。



帰り道では大きなアカマタも出現。しかも、なんとこのポイントからリュウキュウサワマツムシの声を聞きながら写真で姿を確認することができ、最後に今観察会の目的も達成！大満足の秋の夜長となりました。



↑バショウを細かく切り、セスキソーダを加え煮熟

今回の観察会を通してやんばる、大宜味の魅力に少しでも気づいてもらえたら嬉しいです。



地域の素材を通して食を学ぶ♪ 大宜味小学校食生活に関する教育実践校研究発表会

10月26日（金）に大宜味小学校において、食生活に関する教育実践校研究発表会が行われました。昨年度より沖縄県教育委員会及び大宜味村教育委員会の研究指定を受け、研究テーマ『望ましい食習慣を形成するための指導の工夫』、研究副主題を「長寿の里の秘密を探る教材の開発を通して」と設定し、授業研究会や様々な実践活動を行ってきました。

当日は1年～6年生全クラスで公開授業が行われ、授業では講師として栄養士の松田香織さん、大嶺夏生さん、笑味の店の金城笑子さんに参加して頂きました。全体会では、「食と健康について」シンポジウムも行われ、琉球大学講師の土屋善和先生、金城笑子さん、松田香織さん、シンポジストとして会を盛り上げて頂きました。食の大切さ、健康について改めて考えさせられた研究発表会でした。



5年：総合「長寿村の秘密を探ろう」

4年：学活「旬の野菜に学ぼう」／6年：家庭「健康長寿いぎみランチをつくろう」

地元人から講師に…教えるために技術を学ぶ 生涯学習講座 紙漉き・草木染め研修

10月16日（火）、17日（水）の2日間を利用し、琉球大学においてぶながやの里生涯学習講座「村の特産物を活かした草木染め・紙漉き」研修を行いました。

昨年の活動をよりグレードアップし今回は習った技術を人に伝えられるよう、自分たちのものにできるよう研修にし、2日間みっちり紙漉き、草木染めを学びに行きました。



↑バショウを細かく切り、セスキソーダを加え煮熟



煮熟してできた原料↓



原料を叩いて細かくするミキサーも使う



シークワサーを裁断し煮出す



煮熟後、水洗いをする



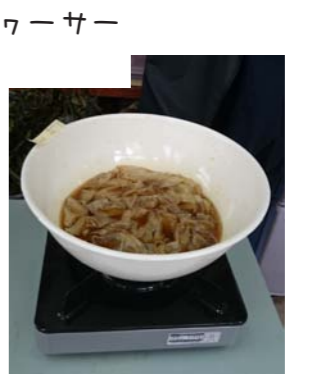
原料をシークワサーで染める



シークワサー以外にシャリンバイ（左）、ゲットウ（右）の染料を使いました。



写真はシークワサー銅媒染の様子



ミョウバン：先媒染 鉄または銅：後媒染



ミョウバン→染液 染液→鉄（銅）→染液

バショウをシークワサーの染料で染める大宜味村の紙漉き。どうやったら、誰でも簡単に紙漉きが上手にできるのか、染めて使う媒染剤を変えてみたり、少し酸性の漉き舟の中を中性に変えてみたり、試行錯誤しながらの作業となりました。草木染めでは染まり方の違いをみるため3種類の植物の染料で3つの媒染方法を試しました。同じ植物の染料を使っても媒染や布によって色も雰囲気も変わり草木染めの奥深さと楽しさを学びました。

今回教わってきたことを皆さんに伝えられるような講座をこれから作っていきたくて考えています。





字誌の芽

深く掘れ 己の胸中の泉
よそ 餘所たゆて 水や汲まぬごとに

現在、村内17か字のうち、9字で字誌が発刊されています。長年、字誌の構想を温め続けてはいるが何から手を付けていいかわからない—漠然とした不安を抱えたまま立ち止まっていますか。村史編さん係では、そんな“字誌の芽”を育てるために、字誌づくり講座の開催や関連資料の案内など、字誌づくりのお手伝いをしています。難しく考えずに、まずはご相談ください。

字誌づくりの意義

自分の生まれ育ったムラの歴史・文化を知ることは、自らにつながる先人の息吹を肌で感じ、生きる基盤を再確認することである。それは、“わたしたちムラ”への愛着と誇りとなり、人生の道しるべとなり、祖先が築き上げてきた「ムラの宝物」を後世に伝えていく礎となる。

字誌づくりの要素（手順）

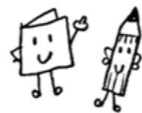
【STEP 1】企画

- ①全体方針：どんな字誌をつくりたいか…
 - ・専門の業者や研究者に資料を託し作ってもらい、住民参加型とし、聞き取りや座談会をして文章にまとめる、写真やイラストを多用して誰でも手に取りやすいもの…などなど
- ②予算：区の予算、各世帯の負担、郷友会からの援助、企業からの協賛、資金造成事業などの検討
- ③スケジュール：何年ぐらいかけて、〇〇年までには…（大まかな行程表をつくとよい）
- ④体制：編集委員の人選、各担当者、執筆者、編集委員会の持ち方（場所、頻度など）を決める

【STEP 2】調査・取材

- ・基本的な資料の収集：字の議事録や沿革史、総会資料、各家庭に眠っている古い写真や手紙、辞令書、証書類、賞状、新聞記事など
- ・聞き取り取材、座談会の開催（テーマごとに分けて行う）：録音したものを文章にまとめる

まずは小さな一歩を！私たちが全力でバックアップします！！



【STEP 3】原稿作成

- ・担当者、テーマごとに割り当てられた頁数に沿って原稿を作成し、写真やイラストなどを配置する（または執筆依頼）。

【STEP 4】活字化

- ・仕上がった原稿や写真などを業者に渡す
- ・校正：ゲラ刷り（試し刷り）が上がったら、誤字脱字、写真の位置、写り具合、その他気になる箇所をチェックし、赤ペンや付箋紙等で指示を書き込み業者に渡す。業者は指示に沿って原稿を直す。このやり取りを2～3回行う。→ 印刷・製本

参 考 既刊の字誌

- 喜如嘉誌（平成8年）役員12名、編集委員9名、執筆者25名 編集期間5年
- 饒波誌（平成16年）編集委員14名 編集期間4年
- 大兼久誌（平成3年）編集委員11名 編集期間8年
- 大宜味誌（平成24年）編集委員8名 宮城長信氏執筆 編集期間14年
- 根路銘誌（昭和60年）主に宮城倉啓氏執筆 編集期間4～5年か
- ふるさとティサガ記念誌（上原・平成9年）編集委員5名 編集期間20年 ※郷友会中心で編集
- 塩屋誌（平成15年）編集委員25名 編集期間10年 ※H11刊「塩屋誌第1集」を包含
- 大保誌（平成18年）編集委員18名 編集期間15年 ※H3編集委員会結成、休眠状態を経てH13に編集作業再開
- 津波誌・別冊津波のシマ言葉（平成16年）編集委員7名 編集期間2年
- ※昭和25年沿革史作成後休眠状態（その間も細々と調査）。H14 編集委員会再結成



村史編さんだより

第91号 2018年11月1日 大宜味村村史編纂係 44-8009 Eメール:sonshi@vill.ogimi.okinawa.jp

『人と自然編』 聞き取り調査報告！



▲調査の様子（大兼久）



▲調査の様子（大宜味）

玩具（沖繩の民具）より
▶ワラで編んで作られた馬の



10/17（水）「人と自然編」聞き取り調査を大兼久、大宜味で実施しました。第2回目のテーマは「植物」ですが、約130項目あるなかで、身近にあまり見られない植物も多く含まれており、両字とも回答率は高くなかったものの、貴重な体験や知恵を聞くことが出来ました。ご協力ありがとうございました。

次回11月は第3回目「動物」のテーマで聞き取り調査を行う予定です。お忙しい中とは存じますが、ご協力よろしくお祈いします。

植物名	方言名	利用
フクギ	フクギ	防風林として屋敷に植えた。建築材で使う場合は、割れないように海に浸けて使用する。（大兼久） 割れないようにしばらく砂浜に埋めて、床材として使用した。（大宜味）
センダン	シンダン	香りがよくタンスなどの家具、正月下駄を作った。
クロツグ	マーニ	葉先の柔らかい箇所を輪を作りエビをとった。葉を数枚重ねて草滑りのソリにした。（大兼久） ブナガヤ小屋を作った。（大宜味）
トベラ	トゥンベル（大兼久）	シバサシのとき、家の門の両側にスキマで作ったサン（魔除けのお守り）とトゥンベルをおき、魚を獲る網を被せた。（大兼久）
クワズイモ		お祝いのときなど、お血がわりとして御馳走を盛った。マおの先につけてセミとりをした。
ヨシススキ	トウジジキ（大兼久）	葦馬などのおもちゃを作った。（大兼久）
オオムラサキシキア		カゴの中に実を入れておいて、実を食べにカゴに入ってきたメジロを捕まえた。（大兼久）
ダンチク	テーク（大宜味）	田圃の水をせき止めるため、近くに生えているテークを利用した。（大宜味）
クスノキ	ソーノギー（大宜味）	建材として利用。 枯らして家の中にぶら下げて臭い消し。（大宜味）
クチナシ		実で正月下駄を黄色く染めた。
ジュズダマ	シジダマ	女の子がお手玉、首飾りなどを作った。
ネズミノオ	ゲージ	エビ、トンボを捕まえるのに使った。

（第2回目調査項目より抜粋）

～『言語編』塩屋・屋古調査840語完了！

第4回目（最終）となる『言語編』調査を10/22（月）南風原町で行い、今回で塩屋・屋古の840語彙（ごい）全ての確認作業が完了しました。

言語の記録は、言語学に通じ”聞く耳”を持った者でなければ正確な記録は取れません。新里幸昭先生監修の下、あらゆる語彙を、方言で一語一語発音してもらい、つづりや強弱などを確認・記録していくという地道で根気の要る作業に、最後までご協力いただいた各氏には、本当に頭の下がる思いです。

今後はこの調査資料を基に、他の字との照合や不明な点をわかりやすくする作業、言語地図の作成など、次年度発刊に向けて取り組んでいく予定です。

他の区については、度々、確認や追加調査でお世話になると思いますが、引き続きご協力の程よろしくお祈いします。



ご協力いただいた方々：前列 新里幸昭 後列（左から）仲原弘哲 大山茂康 平良昭男 真謝肇 宮城孝雄

実は昨年より1号ずれていました…
改めて今月号より34から続けます



「しまふとうば」ぬくとう 34

ハブを見かけなくなって久しくなる。やんばるの山でハブの数が減ってきている うみがーみー感じがするのだが、どうだろうか。先日季節の移り変わりが感じられるユーマングイーの時間帯の帰宅途中、とある場所でフツパ（ヒメハブ）が道路の真ん中に見て10年ほど前の不思議な情景を思い出した。

その日は畑でユーマングイーになるまで作業をしていた。帰る頃は車のライトを点けるか点けないか微妙な時間帯でライトをつけずに運転していた。先ほどの、とある場所の道傍でハブが鎌首をまたげてとぐろを巻いていた。ライトを点けてみても明らかにハブであった。車を降りてハブを捕獲しようとしたら車に道具がないので、作業小屋に道具を取りに戻った。その前にハブに向かって「ウマカラウンカングットウイ マッツキヨーヤー」（ハブを見た時にハブに向かって待つようにと言ったらハブは待つ、とシマの年輩から聞いていたのでそのように言った）作業小屋から長棒とハブを入れる袋を持って、とある場所に戻ると確かにハブは待っていた。車から降りてハブを捕獲すべく長棒を持って近づいてもハブは動く気配がない。長棒でハブの頭を押さえようとした時に、ハキサミヨーナーとタマシヌギル程ドウマンギた。最初に見た時に確かにあったハブの頭がなかったのである。しかも鋭い刃物でとぐろを巻いたままの姿で首をちょん切られた跡の様子であった。何とも不思議な情景であった。マヤーサレているかとも考えたが気は正気であった。作業小屋に行ってから戻るまで20分ほどの時間にこのハブに何が起きたのだろうか、と考えても答えは見つけれなかった。犯人は人間か動物か？最初に見た時、とぐろを巻いて鎌首をもたげていたハブが、20分ほどの間に同じ姿のとぐろを巻いたまま鎌首が無くなっていた????。

ゆまんぐいに少しの冷たさを感じる今頃に、とある場所を通ると時々そのことが思い出される。我ンヤ夢ドウ見ツツイタガヤー。



今月の生きもの



ジャコウネズミ：トガリネズミ科

みなさん、こんにちは♪私、ジャコウネズミです。
名前にネズミと付いていますが、実はモグラの仲間。あまり姿を見せることはないけれど、実はみんなの身近にいます。
私たちジャコウネズミにはおもしろい習性があって、子育ての時期には親や別の子のしっぽをくわえて、みんなで数珠繋ぎになって移動するキャラバン行動をします。これは移動する際に子どもがはぐれる事を防ぎ、生存確率を高める効果があるみたい。これを見られたらラッキー♪思わずカワイイ♪って言っちゃうから。

11月の行事予定

- | | |
|---------------------------|------------------------------|
| 1日（木）区長会 | 12日（月）大中振替休日 |
| 2日（金）おおぎみ展 ～4日 | 16日（金）大宜味村こども議会 |
| 3日（土）文化の日 | 17日（土）国頭地区ミニバスケットボール交歓会 ～18日 |
| 国頭地区中学校駅伝競走大会 | 18日（日）国頭地区中文祭 家庭の日 |
| 4日（日）しまんちゅ芸能 | 19日（月）大中振替休日 |
| 9日（金）秋の遠足（幼稚園） | 22日（木）定例教育委員会会議 |
| 10日（土）2018 ツールド・おきなわ ～11日 | 23日（金）勤労感謝の日 |
| 11日（日）大中日曜授業参観・合唱コンクール | 25日（日）大小日曜授業参観日 |
| | 26日（月）大小振替休日 |

